

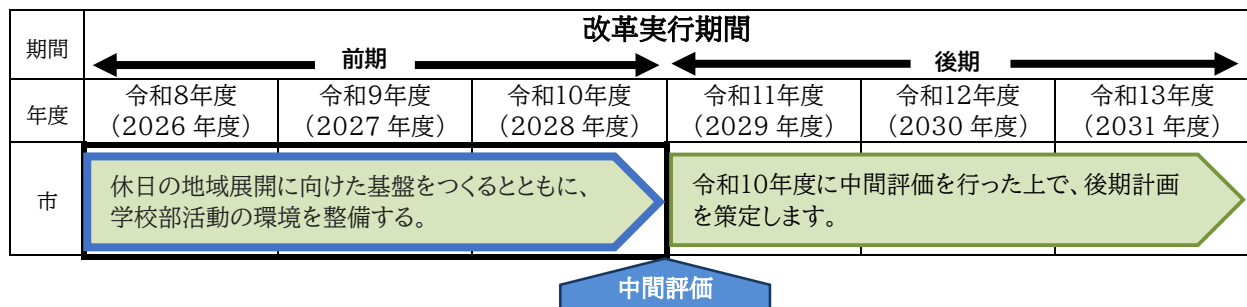
立川市立中学校部活動の地域連携・地域展開に関する推進計画（素案）概要版

近年、少子化の進行や生徒の価値観の多様化、教員の働き方改革の推進等、学校部活動を取り巻く環境は大きく変化しており、こうした状況を踏まえ、国は従前のガイドラインを令和7年に「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」と名称変更して改訂し、今後の学校部活動の地域展開等に関する方針を示しました。

こうした国の動向を踏まえつつ、本市の実情に即した形で部活動の地域展開等を推進するための基本的な方針と具体的な取組を示し、生徒の豊かな学びと成長を最優先に据えつつ、持続可能な活動体制を地域全体で構築することを目的に計画を改訂します。

本市においては本計画に基づき、関係者が共通の理念と目標を共有し、具体的かつ実効性のある施策を着実に推進することで、子どもたちが将来にわたりスポーツ・文化芸術に親しみ、心身ともに健やかに成長できる環境の確保・充実に努めます。

1 改革実行期間



2 計画の目標と基本方針（第3章）

【目標】休日の地域展開に向けた基盤をつくるとともに、学校部活動の環境を整備する。

基本方針 1 生徒ニーズ等を踏まえた スポーツ・文化芸術活動環境の整備	基本方針 2 地域クラブ活動の 運営団体の確保	基本方針 3 指導者の確保・ 指導者の資質の向上
【目標値(R10)】 ・やりたい活動を続けられている生徒割合: 90%以上 ・拠点校方式の部活動数: 3部活以上 ■基本施策1: 多様な活動機会の確保 ・トライアル事業の実施(実証検証) ・部活動拠点化の推進(拠点校方式) ・部活動方針の見直し ■基本施策2: ニーズ調査の実施 ・生徒・保護者・学校への定期調査	【目標値(R10)】 ・認定地域クラブの数: 1クラブ以上 (低廉な会費・困窮世帯支援の検討) ■基本施策3: 認定制度の運用設計 ・認定制度の構築(安全性・適切な運営体制を備えたクラブの認定) ・認定地域クラブの運用支援検討(情報提供・人材確保・財政支援等)	【目標値(R10)】 ・部活動指導員配置部活の顧問の部活動 従事時間: 週5時間以内 ■基本施策4: 指導者の確保 ・大学(包括連携協定等)・地域団体連携 ・教職員の兼業兼職制度の整備 ■基本施策5: 指導者の資質向上 ・指導者研修(安全・ハラスメント・救急等) ・日本版DBSの適正運用

3 参考（第2章より）

2. 市の現状データ（生徒数・部活数）	・市立中学校: 9校 ・生徒数: 3,797人(R7.5.1) ・運動部: 82部、文化部: 39部(計121部) ・部活動参加率: 83.7%
3. 教員の負担実態データ 東京都「未来へつなぐ部活動改革アンケート(R6立川市結果)」	・指導/運営に負担感: 80.7% ・専門外の休日指導を望まない: 94.3% ・支障業務: 教材研究76.9%、生徒指導53.8%
5. 児童・生徒の意識調査 令和7年10月実施の小5・6児童アンケート結果	・部活加入意向: 64% ・他校生と地域クラブで活動: 31%「面白そう」 ・希望種目: eスポーツ(23%)、家庭(18%)、ダンス等多様化
6. 保護者の意識・費用の許容範囲 令和7年10月実施の小5・6保護者アンケート結果	・部活加入希望: 91% ・期待内容: 心身の成長(58%) ・地域展開時の月額許容費用: 上限5,000円(27%)、上限3,000円(25%)

【用語定義】

地域連携: 指導員配置や拠点校方式により学校部活動を地域人材が支援

地域展開: 学校部活動を地域の民間・社会教育団体等主体の「地域クラブ活動」へ展開